

モデル授業案① 導入：観光とは何か、観光の重要性を学ぶ。地域の観光の魅力に気づく、知る。

| 項目     | 座学・調べもの学習   | 講演  | グループワーク   |
|--------|---|---|---|
| テーマ    | 観光に関する基礎情報、地域の特徴等を学ぶ  | 地域の観光に関わる仕事をしている外部人材の講演   | 自分の都道府県に観光客（インバウンド等）が増えている（又は減っている）理由、地域の特徴とその理由等について話し合う   |
| 授業内容   | <p>○観光客・観光の定義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客はどのような人？</li> <li>・観光とは何を意味するのか？</li> <li>・観光はなぜ重要なのか？</li> </ul> <p>→【国内事例④、⑤】沖縄県が発行する副読本を活用</p> <p>○観光の形態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人はどのように観光するのか？</li> </ul> <p>→【国内事例①】副読本「カリブの観光」を活用</p> <p>○自分のまちの魅力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のまちの自然、歴史、文化、料理、祭り、イベント等</li> <li>・何が観光客を自分のまちに引き寄せるのか？</li> </ul> <p>→【国内事例④、⑤】沖縄県が発行する副読本を活用</p> <p>○自分のまちの観光動向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口動向</li> <li>・産業構造</li> <li>・観光政策の状況等</li> </ul> <p>→【国内事例④、⑤】沖縄県が発行する副読本を活用</p> | <p>○自分のまちに関する講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役場の観光課、観光協会等により、地域の魅力に関する講演会を開催する。</li> </ul> <p>→【国内事例④】外部講師（観光を専門とする大学教授）による講義</p> <p>→【国内事例⑧、⑨】外部講師（観光産業従事者）による講演</p> <p><b>【高校生を主に想定】</b></p> <p>○観光における雇用に関する講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の旅行代理業、宿泊業等の観光産業関連者により、観光産業の仕事がどのようなものかについて講演会を開催する。</li> </ul> <p>→【海外事例①】就業体験時の観光産業従事者によるガイダンス</p> <p>→【海外事例③】ニュージーランド航空によるガイダンス</p> | <p><b>【小学生（4年生以上）を主に想定】</b></p> <p>○自分の都道府県に観光客（インバウンド等）が増えている（又は減っている）理由、地域の特徴とその理由等について話し合う。</p> <p><b>【中学生を主に想定】</b></p> <p>○自分の都道府県に観光客（インバウンド等）が増えている（又は減っている）理由、地域の特徴とその理由等について話し合う。／自分たちのまちの課題について考える。</p> <p><b>【高校生を主に想定】</b></p> <p>○自分の都道府県に観光客（インバウンド等）が増えている（又は減っている）理由、地域の特徴とその理由等について話し合う。／自分たちのまちの課題について考え、原因の仮説を立てる。</p> |
| 教材     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の教科書</li> <li>・出版物（図書、観光関連雑誌等）</li> <li>・観光庁の各種統計データ</li> <li>・関係自治体の各種統計データ</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部人材（役場の観光課、観光協会、NPO等）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光パンフレット</li> <li>・出版物（図書、観光関連雑誌等）</li> <li>・観光庁の各種統計データ</li> <li>・関係自治体の各種統計データ</li> </ul>   |
| アウトプット | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業ノート</li> <li>・授業内での発表</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演に対する感想文</li> <li>・講演に対する感想文の発表</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いをまとめた模造紙、パワポ</li> <li>・授業内での発表</li> </ul>   |

モデル授業案② 展開：地域の課題を見つけるために調査を実施し、結果を分析して解決策を考察する。

| 項目   | グループワーク①（調査方法の検討）  | 現地調査  | グループワーク②（調査結果の分析・考察）  |
|------|--|---|---|
| テーマ  | 地域の観光課題を見つけるための調査を計画する   | 調査を実施し、地域の観光課題を見つける   | 調査結果を分析・考察して取りまとめる  |
| 授業内容 | <p>[小学生（4年生以上）を主に想定]</p> <p>○現地調査の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の知識や経験、地図、観光パンフレット等を活用して、「地域の光る資源」をリストアップする。</li> <li>リストアップした資源の調査計画（調査項目、調査対象、調査方法、役割分担、行程等）を作成する。</li> <li>選んだ資源と理由、調査計画を発表する。</li> </ul> <p>→【国内事例③】地域の魅力的な資源をリストアップ</p> <p>[中学生・高校生を主に想定]</p> <p>○現地調査の計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の知識や経験、地図、観光パンフレット、外部人材の講演等も活用して、「地域の魅力と課題」をリストアップする。</li> <li>地域の魅力と課題に関する調査計画（調査項目、調査対象、調査方法、役割分担、行程等）を作成する。</li> <li>地域の魅力と課題、理由及び調査計画を発表する。</li> </ul> <p>→【国内事例⑨】3泊4日の研究旅行で生徒が班行動の現地調査を実施するための計画を作成</p> | <p>○現地調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査計画に基づき、現地踏査、関係者へのインタビュー等を行い、特徴、気づいたこと、地域内外の人に知って欲しいこと等を調べる</li> </ul> <p>→【国内事例①】東京を代表する駅弁について〇〇にインタビューを実施</p> <p>→【国内事例②】京都市内の観光地で観光客にインタビューを実施</p> <p>→【国内事例③】地元事業者（カフェ、パン屋等）への取材を実施</p> <p>→【国内事例⑥】現地のガイドコースで実際にガイドスポットを確認</p> <p>→【国内事例⑦】温泉活性化を模索するため、旅館等へインタビューを実施</p> <p>→【国内事例⑧】ポップ畑等の現地でフィールドワークを実施</p> <p>→【国内事例⑨】都内で都道府県のアンテナショップ巡りを実施／3泊4日の研究旅行を行い、生徒が班行動で現地調査を実施</p> <p>→【国内事例⑩】高校生が商品開発のために生産者を訪問してヒアリングを実施／高校生がプロのバイヤーからレクチャーを受けながら、地元の生産者や製造者の話を聞きに行く</p> | <p>[小学生（4年生以上）を主に想定]</p> <p>○現地調査の分析・考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果を分析し、地域の光る資源について取りまとめる。</li> </ul> <p>→【国内事例①】「食」、「農業」、「観光」、「地理」における東京のブランドについて発表会（1時間）を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の資源が現在観光客にとって魅力である（又は魅力ではない）理由、今後更に観光客を引き付けるためのアイデアを考察する。</li> </ul> <p>[中学生・高校生を主に想定]</p> <p>○現地調査の分析・考察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果を分析し、地域の魅力と課題、その理由について取りまとめる。</li> <li>地域の課題を解決するためのアイデアについて考察する。</li> </ul> <p>→【国内事例②】京都市内の観光地で観光客に実施したインタビュー調査の結果を分析し、報告資料を作成（パワーポイント）</p> |
| 教材   | <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いをまとめた模造紙、パワポ</li> <li>授業内での発表</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>調査計画書</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート記録</li> <li>インタビュー記録</li> </ul>   |
| アット  | <ul style="list-style-type: none"> <li>調査計画書</li> <li>アンケート用紙</li> <li>インタビュー用紙</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート記録</li> <li>インタビュー記録</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>調査報告書</li> </ul>   |

モデル授業案③ 応用：地域の課題に対して具体的な解決策を考えて実践する。

| 項目     | グループワーク  | 地域での意見交換・営業活動・実践   | 成果発表・表彰  |
|--------|--|--|--|
| テーマ    | 既存資料や調査結果を基に地域の課題の解決方法を考える   | 地域関係者の意見を踏まえて地域での実践やビジネスとしての可能性を考える  | 意見交換や実践の結果をとりまとめて発信する  |
| 授業内容   | <p>[小学生（4年生以上）を主に想定]</p> <p>○「観光案内マップ」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の知識や経験、地図、観光パンフレット、及び現地調査で調べたこと等を地域やテーマ毎に整理・分類し、地図上にまとめる。</li> </ul> <p>→【国内事例③】収集した情報や写真を地図上にまとめた</p> <p>[中学生を主に想定]</p> <p>○「地域の課題を解決する具体的な方策」の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PR、イベント、勉強会、観光ガイド等（自分たちだけで実現できることを重視）を考える。</li> </ul> <p>○実践に向けた企画・準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な企画を考える（目的、プログラム、スケジュール、外部協力者の調整等）</li> </ul> <p>→【国内事例⑦】浅間温泉の職業体験やイベントに参加して知見を深めた</p> <p>[高校生を主に想定]</p> <p>○「地域の課題を解決するビジネス視点の方策」検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地元とコラボしたモデルツアーの実施、特産品開発、特産品の販路開拓、PR、イベント、観光ガイド等を考える。</li> </ul> <p>○実践に向けた企画・準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>方法を実現するための具体的な企画を考える（目的、プログラム、スケジュール、外部協力者の調整等）</li> </ul> <p>→【国内事例⑧】外部団体とも連携して課題ごとに解決策を考えた</p> | <p>[小学生（4年生以上）を主に想定]</p> <p>○地元関係者への報告・PR及び意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光ボランティア等、実際に地域で観光案内を担う立場の方から、日頃の取組の様子を教えてもらう。</li> <li>作成した「観光案内マップ」について、地域関係者（役場、観光事業者、NPO、観光ボランティア等）へ報告・PR</li> </ul> <p>[中学生・高校生を主に想定]</p> <p>○地域関係者への営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えた企画を地域関係者（役場、観光事業者、NPO等）へ報告・PR/連携する事業者との合意</li> <li>解決策を実現するための準備（資材・備品等の準備、役割分担、外部への協力依頼等）を進める</li> </ul> <p>○解決策の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>準備した解決策を実践する。</li> </ul> | <p>○結果の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実践の結果を振り返り、成果と課題を整理する。</li> <li>それらを発表資料として取りまとめる。</li> </ul> <p>○成果発表会の企画・準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表会の企画、準備を進める。</li> </ul> <p>→【国内事例⑧】行内外で課題解決策を発表した</p> <p>→【国内事例⑨】4月から11月までの取組内容をまとめたレポートを11月末に作成</p> <p>○表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒・先生・保護者・地域関係者全員で投票を行い、上位グループの表彰を行う（学年全体で行う等、グループ数が多い場合を想定）</li> </ul> <p>→【国内事例③】最終発表会で上位となった3チーム（○チーム参加）を表彰し、観光アプリに地元小学生おすすめルートとして掲載</p> |
| 教材     | <ul style="list-style-type: none"> <li>出版物（図書、観光関連雑誌等）</li> <li>観光庁、地方公共団体の各種統計データ</li> <li>地図、パンフレット</li> <li>アンケート記録、インタビュー記録、調査報告書</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の魅力を伝える観光案内マップ</li> <li>地域の魅力を伝える企画提案資料</li> <li>官公庁が出している観光や地域活性化に関する事例集、書籍</li> <li>外部人材（観光振興や地域活性化に関する専門家によるハンズオン支援）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域関係者との意見交換の記録</li> <li>実践の記録</li> </ul>  |
| アウトプット | <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いをまとめた模造紙、パワポ</li> <li>地域の魅力を伝える観光案内マップ</li> <li>地域の魅力を伝える企画提案シート（パワポ等）</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域関係者との意見交換の記録</li> <li>実践の記録</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いをまとめた模造紙、パワポ</li> <li>授業内での発表</li> </ul>  |

## 6. 今後の展望

本事業では、観光教育の普及を目的として、国内外の小中高等学校等における観光教育の現状について調査を行った。具体的には、国内外の先進事例（国内 10 事例、海外 3 事例）を収集し、観光教育を進める上でのポイント等を整理するとともに、その効果検証を行った。また、専門家の意見も取り入れながら、今後の国内における観光教育の推進に資するモデル授業を段階（「導入」→「展開」→「応用」の 3 ステップ）に応じて構築したところである。

また本事業では、観光教育の導入・実践により、子どもたちの自主性や探究心が育まれるとともに、観光を将来の職業として意識する事例もある等、大きな成果が生まれていることが分かった。今後、本報告書を参考にしながら、観光教育の重要性やその具体的な進め方等に関して認知・理解が進むとともに、全国各地で観光教育の導入が進められることを期待したい。

観光教育の導入に際しては、まずは「総合的な学習の時間」の授業における導入が想定されるが、歴史や地理といった観光教育と親和性の高い内容を扱う「社会科」、学習指導要領の改定（※注）に伴って小学校 3～4 年生で授業が行われる「外国語」、小学校 5～6 年生で科目として扱われる「英語」等の教科においても、観光教育を授業の題材として扱うことにより、各科目の学びが深まる等の良い相乗効果が期待できる。また、改定後の新しい学習指導要領において重視される“地域の外部人材との連携”や“社会に開かれた学校教育”のポイントについて、観光教育で地域の外部人材と連携した授業を行ったり、地域へフィールドワークや調査等で児童や生徒、教員等が出て地域の人々と交流したりすることが良い取組例となることが期待できる。

一方、モデル授業の導入・実施にあたっては、初めて観光教育に取り組む学校にとっては様々なハードルが生じることも想定される。また、観光教育を導入・実施することが教育現場に新たな負担を増やすことにつながらないように配慮することが必要である。そのため、観光教育に関する情報発信、観光教育モデル授業の積極的な導入を検討している学校への支援（専門家の派遣や効果の検証等）等を行っていくことも重要と考える。

※注：新学習指導要領は、小学校では平成 30 年度～平成 31 年度が移行期間、平成 32 年度から全面实施、中学校では平成 30 年度～平成 32 年度が移行期間、平成 33 年度から全面实施、高等学校では平成 31 年度～平成 33 年度が移行期間、平成 34 年度から年次進行で実施が予定されている。